

# 目 次

<b>第1章</b>	<b>急性腎不全とはなにか？ —急性腎不全とAKI—</b>	<b>1</b>
1	急性腎不全の概念の変遷（急性腎不全からAKIへ）	2
2	急性腎不全の診断	5
3	Acute kidney injury（AKI）の診断	6
4	急性腎不全かAKIか？	9
	将来展望	11
<b>第2章</b>	<b>急性腎不全はどのような状況で発生するか？ —急性腎不全の原因と疫学—</b>	<b>13</b>
1	急性腎不全の原因の変遷	14
2	急性腎不全の原因	18
3	急性腎不全の発症頻度	22
	将来展望	23
<b>第3章</b>	<b>急性腎不全の腎組織変化</b>	<b>27</b>
1	近位尿細管の壊死	28
2	近位尿細管のみの障害か	30
3	糸球体の変化	30
4	尿細管周囲毛細血管と間質の変化	31
5	壊死かアポトーシスカ	32
6	尿細管細胞の極性の喪失と脱落	35
	将来展望	35
<b>第4章</b>	<b>急性腎不全でなぜ高窒素血症が生じるか？ —急性腎不全の発症機序—</b>	<b>39</b>
1	狭義の急性腎不全で腎機能が低下するメカニズム	40
2	尿細管細胞の極性の喪失と腎機能低下	47

将来展望 .....	49
------------	----

## 第5章 急性腎不全の発症に介在する因子 ..... 51

1 血管作動性物質 .....	52
2 活性酸素 .....	54
3 一酸化窒素 (nitotoxic oxide : NO) .....	56
4 炎症 .....	58
将来展望 .....	62

## 第6章 急性腎不全の腎臓で防御的に働く因子 ..... 69

1 熱ショック蛋白 (HSP) .....	70
2 成長因子 .....	71
3 低酸素誘導因子 (HIF-1 $\alpha$ ) .....	73
4 細胞周期調節因子 .....	74
5 臨床応用へ .....	77
将来展望 .....	78

## 第7章 急性腎不全からの回復 ..... 83

1 再生細胞の起源 .....	84
2 尿細管の再生を促す (関与する) 因子 .....	91
将来展望 .....	97

## 第8章 多臓器不全としての急性腎不全・AKI ..... 103

1 多臓器不全と感染症の合併が予後を悪くする .....	104
2 SIRS, 感染症による急性腎不全・多臓器不全の発症機序 .....	107
3 臓器相関 — 1臓器の不全が他の臓器不全の発症に関与 — .....	115
4 多臓器不全に伴う急性腎不全の予後改善の試み .....	117
5 急性腎不全発症の早期診断・診断マーカー .....	120
将来展望 .....	122

## 第9章 急性腎不全の予後 ..... 131

1 生命予後 .....	132
--------------	-----

2	生命予後の予測因子 .....	134
3	急性腎不全の発症は各種疾患の生命予後に影響する .....	137
4	腎機能の回復 .....	139
	将来展望 .....	142
	<b>附 章</b> 動物の急性腎不全モデル .....	<b>147</b>
1	虚血性急性腎不全モデル .....	148
2	腎毒性急性腎不全モデル .....	149
3	グリセロール誘発急性腎不全モデル .....	151
4	敗血症関連急性腎不全モデル .....	152
5	特殊な急性腎不全モデル .....	153
	<b>索 引</b> .....	<b>161</b>